

どうして奈良県職員なの？  
先輩！教えて！

ちょこっと

**ホンネが聞こえる  
井戸端会議**



奈良県庁に勤める入庁ほやほやの若手職員がホンネでトーク。  
なぜ奈良県を目指したのか、休日の過ごし方や面接の心構え  
などを語ります。

これから奈良県への就職を目指す後輩に向けての熱いメッセージ  
です。

## 座談会メンバーの自己紹介と担当している仕事内容

所属 【職種】



農村振興課 用地管理係 【行政】

主に土地改良区の手続き等に関する業務をしています。

葛城保健所 衛生課食品衛生係 【薬剤師】

飲食店などの営業許可に関する相談や審査を行ったり、県民の方々が安心して飲食店を利用できるよう監視・指導を行っています。



南部農林振興事務所 森林整備第二係 【林学】

治山業務、具体的には、森林の崩壊地や崩壊しそうなところに堰堤を設ける仕事をしています。

保健研究センター細菌チーム 【化学】

食品の細菌検査、具体的には保健所が業者から無償で抜き取ってきた食品の検査(収去検査)や行政検査、食中毒検査をしています。



五條病院総務課施設係 【機械】

病院の電気、ガス、水の設備関係の管理や修繕などを行っています。南和広域医療組合の業務も兼務し、新病院建設にも関わっています。

## TALK 1 奈良県職員を志望した動機を聞かせてください！



東日本大震災が発生したとき、メーカーで勤務していました。大変な状況でも、売り上げが落ちないようにという企業方針に疑問を抱き、公務員が被災地で奮闘している姿を見て志望しました。

家族が病気になったときに介護等で行政にお世話になったのも志望理由のひとつです。

私は薬剤師ですが、行政分野にも興味があり、奈良県では病院での調剤業務、行政業務、両方ができると聞いて志望しました。

奈良は、ふるさとであり、奈良の医療を良くしたいとの思いもありました。



環境問題に関心があり、この問題について考えるとき、森林の公益的機能が大きな役割を果たしています。

森林を適正に管理し、公益的機能を発揮させれば、環境問題に貢献できると考え、希望職業を選択しました。なかでも、山を切りすぎず、放置もしすぎないという利益追求ではない、適正な管理ができる公務員を目指しました。国家公務員では管轄が広く、それぞれの山に応じた管理をするには、県職員が適していると思いました。

私は、県立奈良病院で生まれました。その直後から2年間病気で通院していました。

今の自分があるのは、当時の看護のおかげだと思っています。生まれ育った奈良県に貢献したいという気持ちで奈良県職員を志望しました。

民間企業はものづくり優先となりがちですが、人と接することが好きなので、人を主体として考え、人の幸せを追求できる公務員の仕事に魅力を感じました。



これまで、民間企業で2年間働いていましたが、仕事の範囲が会社内に留まっていた。

機械を専門としていますので、もっと大きな“まちづくり”に関わることができる仕事がしたいと思い公務員を志望しました。

## TALK 2

### 今までの仕事で印象に残っていることは？



奈良県公報で告示をしなくてはならない業務があったのですが、原稿を担当課に提出するのを忘れていました。上司や担当課にカバーしてもらい乗り切ることができました。

他には、県民の方からの苦情対応に苦慮したことや、農家の方との連絡手段としてメールが使えず、電話や郵便を使用していることも印象的です。

食中毒をおこした飲食店に衛生管理の講習会を実施しなくてはならないのですが、厳しいことを言っても、熱心に受講してもらったことが印象に残っています。



山の崩壊地を見に行くことが多いのですが、綺麗だったところがこんなふうにな壊れてしまうのかと、実際の現場をみて驚きました。改めて、災害の怖さを実感しました。

食中毒が発生したら、原因を調べる業務も担当しています。

できるだけ早期に感染源の特定をして、感染の拡大を防止することが必要ですし、営業停止につながるなど、影響が大きいので、いつも以上に集中し、責任と緊張感をもって検査しています。



五條病院では、土日にへき地医療を実施しています。普段は参加しませんが、事務職要員の代替として参加する機会がありました。いろいろな職種の方との交流ができ、印象に残っています。

## TALK 3    どんなところにやりがいを感じますか？



問い合わせ等に対応したときなど、「ありがとう」と言っていたときは嬉しいです。

仕事は、やり方次第で効率を上げられるので、工夫していかにか効率よく仕事をするかを考え、変えていくこともやりがいとなっています。

学生時代は専門外であった食品に対する様々な知識を吸収できることです。

普段は入ることのない食品工場に入り、食品がどのように作られているか知ることもでき、大変興味深いです。

食品は実生活にも大いに関わりがありますので、役立つことも多いです。



崩壊地に手を加える仕事なので、問題が解消できたときは、直接付近住民の生活に役立っていることを実感できます。

技術者としては、コンクリート擁壁などの設計図の作成に関わることが、やりがいを感じる場所です。また、完了検査に同行することがあるのですが、実施前後で確実な変化を感じることも、設計どおりに竣工していることを確認できたときも感慨深いものがあります。

学生時代は、細菌の研究をしたことがなく、配属先を聞いて戸惑いましたが、新たな知識を獲得して、仕事にも対応できていることがやりがいです。



病院では、電気、水、ガスは当然のように供給されています。

入院している患者さんの命に関わるので、供給が止まらないように、責任感を持って仕事しなければならないことをやりがいに感じています。

## TALK 4 入庁前と入庁後のギャップはありましたか？



入庁前、公務員は暗くて黙々と仕事をしているイメージがありましたが、みなさん明るく仕事をされていて、予想外でした。

環境問題を考慮して空調を調節しているため、夏に職場が暑いのは少し残念です。

前職では電子黒板を使用したり、会議もウェブカメラ等で行っていましたが、実際に集まって会議をするなどアナログなやり方に戸惑いましたが、行政は経費と情報セキュリティの問題があるため仕方ないかなと思っています。

事務作業が多く、県民の方と接する機会が少ないのかと思っていましたが、接客はもちろん、出張が多いので、県民の方と話す機会は思っていた以上に多いです。



私も、事務仕事より出張の方が多いたことが意外でした。自分で測量をしたり、実際に山を歩くこともあります。

業務分野が多岐にわたることです。仕事内容の多様性に驚きました。



1年目から重要な仕事も任せてもらえることです。私の係は3人で病院全体の施設を管理していますが、それぞれに担当を決めて責任感をもって仕事をしています。

## TALK 5 仕事のモットーを教えてください！



1つめは、できるだけ定時に帰るようにしています。そのため、今までのやり方を全部変えるつもりで業務にあたり、効率的な方法に変えるようにしています。

2つめは、健康の維持です。全力で仕事に取り組めるよう、食事と睡眠に気を遣っています。

3つめは、情報収集です。朝は、一番に出勤し、新聞等から情報収集しています。

4つめは、仕事をマニュアル化することです。後任の人にも定時に帰れるようにしたいと思っています。

5つめは、時間ごとにこなした仕事の記録をつけることです。あとで、時間の無駄等がないかチェックするのに役立ちます。

私は、企業からの相談を受けることがよくあるのですが、大きな会社には大きな目標を定めてもらうようにしています。一方で、小さな事業者には、クリアできるような小さなことから、こつこつやってもらい、モチベーションを保っていただけるように努めています。



私も、業者さんを相手にすることが多いです。そんな中でも、住民目線を大切にしています。また、今日すべきことを書き出すようにして、仕事のやり残しを明日に持ち越さないように努めています。

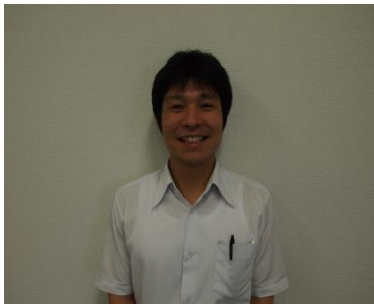
主な業務が細菌検査ですので、迅速に、正確に検査することに努めています。それが県民の安全につながっていると自負しています。



私は、人の話をよく聞くことを心がけています。きちんと聞かずにいると、間違った理解をしかねません。

そして、わからないことがあればその場で解決するようにしています。

## TALK 6 奈良県職員になって良かったことは？



前職では、電気関係の仕事をしていました。当時も奈良についてよく知っているつもりでしたが、もっと深く奈良を知ることができます。

今後、数年に一度人事異動があると聞いています。違う職場になって、さらに知識が増えると思うと楽しみです。

横のつながりと縦のつながりのどちらも深いことです。横は同期同士のつながりで、縦は薬剤師資格で入庁した職員の集まりがあります。いろいろ相談できるので、仕事がスムーズにこなせています。

研修メニューが充実しているのも、奈良県職員になって良かったことのひとつです。



県南部を知る機会が増えたことです。

入庁前は、吉野が南の端と聞いていましたが、もっと魅力的な地域が南部にあることを知りました。

私も、県庁の同期などの横のつながりが深いと感じています。

研修が充実していると思います。電話対応や、パソコン研修などです。ホームページ作成も担当していますが、研修内容を業務に活かしています。

また、奈良県の良いところを再発見、再確認できたので、奈良県職員になって良かったと思っています。



私も奈良県を以前より知ることができました。県が実施しているイベントなども同期から教えてもらい知ることができます。



## TALK 7

### 休日は何をしていますか？



家族と過ごすことが多いです。地域の行事に参加したり、家電量販店などに行き、買い物を楽しんでいます。

同期の友人や、大学時代の研究室の友人と旅行を楽しんでいます。  
毎週末、旅行に行った月もありました。



奈良県の川上村に地域おこし兼林業のボランティアに行っています。  
個人的に山の中で何かするのが好きなので、職場の先輩に誘われて行き始めました。  
山の中で木を切ったり、イベントのお手伝いなどをやっています。

同期の友人とカラオケや飲みに行ったり、釣りに行ったりして楽しんでいます。できるだけ趣味の時間を作り、前の週のことをリセットするようにしています。



休日は趣味の時間に使っています。サッカーや、釣りをしましたが、最近はスキューバダイビングもやり始めました。和歌山県の串本や静岡県の熱海まで行き楽しんでいます。

## TALK 8 採用試験の対策方法、ぜひ聞きたいところです



私は社会人経験者として試験を受けたので、筆記試験対策としては、日本国憲法の勉強を少しやった程度です。論文は何か出題されるかわからないので、特に何も対策せず受験しました。

面接では、答えを準備して過大に評価してもらっても困るなと思い、その場で考えて自分の言葉で回答しました。

私は、公務員試験の問題集を購入して独学で勉強しました。面接対策は、想定問答を考えて、友人と模擬面接して備えました。

集団討論対策として、友人5～6人で集まって練習したりしました。



奈良県職員を目指し始めたのが、4回生の2月ぐらいだったので、就職浪人を前提にして試験勉強しました。教養試験は問題集を買って、それをひたすら解きました。

専門試験は林学だったので、大学の勉強を復習しました。

面接は、民間に就職が決まっている友人に面接での話し方を聞き、自分の言いたいことをきちんとまとめて臨みました。想定面接はやっていません。

大学院に在籍していたので、学会と重なり勉強どころではありませんでした。教養試験は、売っている問題集を解く程度でした。専門試験は大学の講義を聴いていれば対応できました。

面接は、熱意が必要だと思います。自分の言いたいことを頭にいれておき、暗記するのではなく、生きた言葉で伝えることに気を付けました。



私も、教養試験は、売っている問題集を独学で解いて備えました。

専門試験対策は、大学の勉強の復習です。

面接では、自分のやってきたこと、経験したことを、どのように業務に生かせるかに重点をおいて話しました。

## TALK 9 奈良県職員を目指す後輩に向けたメッセージを！



奈良に住みたいと思ってもらえる奈良県を作りたいと思っている方と、是非一緒に仕事がしたいです。  
業務が多種多様なのでいろいろなことを知ることができます。  
異動がありますので、いつも新鮮に仕事ができると思います。

今、薬剤師を目指している方で、医療分野以外の仕事に興味ある方におすすめです。

食品や環境など多岐にわたる仕事を経験でき、大きな視野を持った職員になれると思います。

公務員になる道のりは長いでしょうが、頑張ってください。



面接ではマナーを勉強するより、まずは気持ち、熱意が大切です。

職場は楽しく、優しい先輩が多いです。専門知識を活用でき、勉強したことをフルに使えるのでやりがいがあります。

一緒に働けることを楽しみにしています。

奈良県は、働きやすい、最高の場所だと思います。

奈良の良い伝統を守ることはもちろんですが、少子化や雇用対策など時代のニーズに対応することも大事だと考えています。

仕事の分野が幅広いので、新たな自分に出会えるのではないのでしょうか。



奈良県では、いろいろな仕事を経験できると思います。中でも電気、機械という設備の仕事は、水道施設や病院等大きな施設で仕事ができるので、責任感をもって仕事したい方にはおすすめの職場です。

